

# 「みんなで勝ち取った関西優勝！」

2018年10月12日

執筆者：4回生 松田 華苗

(愛媛県 私立帝京第五高等学校出身)

私たち立命館大学体育会剣道部女子は、第42回関西女子学生剣道優勝大会におきまして優勝することができました。これもひとえに若竹会の諸先輩方、指導陣の皆様、保護者の皆様、全ての関係者の方々のおかげと深く感謝申し上げます。又、台風の接近により途中中断となりました9月30日の大会に、お足元も悪い中お越しくくださった多くの先輩方に心よりお礼申し上げます。

私は入学以来、「関西優勝」を目標とし歴代の先輩方とともに日々練習に取り組んできました。しかし、毎年あと一步のところまで敗れ悔し涙を流す結果で終わっていました。新体制になり、私達幹部が掲げたのは「関西優勝」はもちろん、「すべての大会で優勝」という目標でした。今年に入って団体では西日本大会以外は優勝をしています。西日本大会では惜しくもあと一步のところまで敗れ2位という悔しい結果に終わりました。その悔しさや入学してから今まで関西大会で優勝できなかった悔しさを忘れることなく、毎日女子部員全員で練習に励んできました。台風の影響で大会が延期になりイレギュラーな状況で挑んだ試合でしたが、みんなの気持ちは1つでした。「絶対に優勝する」そんな想いがにじみ出ていたように感じます。立命女子の課題である1試合目の立ちあがりの悪さを心のどこかで不安に思い、弱気になっている私たちに下井監督が喝を入れてくださりました。そのおかげもあり、1試合目を勝ち上がり、2試合目も勝ち全日本大会出場を決めました。3試合目からは更に勝ちにこだわるばかり、力が入っている私たちに谷村助監督が「もう、全日本は決まったんだから後の試合は楽しんだらええだけや!」とおっしゃってくれました。そのおかげで肩の力も抜け決勝までみんなで楽しんで試合をすることができました。決勝は私が入学以来1度も勝ったことがない大阪体育大学でした。当日は試合会場が狭く応援の立ち入りは禁止でしたが、今まで多くの応援を下さった先輩方、指導陣の皆様、仲間の想いが、緊張する私の背中を押してくれたように感じました。そのおかげで優勝することができました。本当にありがとうございました。

3年間悔しい想いをたくさんしてきて、やっとラストの年で「関西優勝」を勝ち取れて、とても嬉しかったです。これも全て皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

「自分を信じて、仲間を信じて。みんなの為に戦う。」と思えた立命館大学体育会剣道部の環境・周囲のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。全日本大会も悔いが残らないよう日本一を目指して頑張っていきますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

